

美しい豊かな田万里を築くために

美しい豊かなふるさと

美しい田万里

ふるさとの山河は美しい。ふるさとの人は懐かしい。むらびとたちが長い時をかけ、慈しみ守り育ててきた田畑と暮らしが、みどり豊かに輝いている。ふるさととは、私の誇り、大切なたからもの。

豊かな田万里

朝夕の挨拶、折々の語らい、慌ただしさを忘れ心なごむひととき。日常の助け合い、励ましや支え合いの輪の広がりの中で、ふるさとの暮らしが充実し、希望にみちたものになっていくように。

田万里を築く

わがまちを語ろう。誇れるものを創り出そう。それこそが、まちづくりの取組み。ふるさとの力を結集し、明日につながる道を切り拓こう。美しい豊かなふるさと・田万里を築くために。

た
助け合う里（協働）

ま
守り拓く里（創造）

り
輪を広げる里（発展）

五年間の重点目標

田万里町協働のまちづくり協議会は、これまで積み上げ定着させてきた領域活動に、新たに今日的課題として、自主防災組織の強化と、郷土資料の保全活用の2点を加え、重点的に取り組む。

- 1 自主防災組織の立ち上げ
- 2 防災マップ・防災マニュアルの作成
- 3 防災学習・防災訓練の実施
- 4 田万里ふるさと資料室の開設
- 5 ふるさと学習の実践



田万里そして往還（田万里寸描）

田万里は街道の村であった。遠く遡っては、山陽道の宿駅、本郷・西条四日市の間駅として、山越えの旅人の足を休めた村であった。往時の田万里市の賑わいは、山峡の小村にあっては、たいそうなものであったという。明治9年、国道2号と名称が改まり、車馬が自動車に変わって、宿駅の賑わいはなくなっていったが、田万里坂は交通の難所として名を知られ、中国駅伝では、コース最大の勝負どころとしてファンの注目を集めた。

昭和34年、交通量の増大に伴い、国道2号の大幅な付け替え工事が行われる。新国道の完成により、旧国道は、主要道としての役目を終え、市に移管され、市道となり現在に至る。西日本の大動脈として1日に18000台もの車両が流れる新国道とは対照的に、旧国道はむかしの姿のままの山の辺の道である。松子山に水源を発生し、東に向かう清流田万里川に並行して走るこの古道は、町内約5.2km。カメラやガイドブックを携え、そこに残る小さな史跡や四季折々の野花を尋ねて、この往還に行く人は多い。

往還・田万里街道 — ふるさとの歴史のあかしとして、町の人々に愛され守られて今も静かに息づいている。



市立竹原書院図書館所蔵

美しい豊かなふるさと 田万里

助け合う里 守り拓く里 輪を広げる里

田万里町協働のまちづくり協議会の発足にあたって

「田万里町協働のまちづくり協議会」発足の経緯

昭和33年（1958年）、市制の施行により竹原市田万里町となって、以来約50年が経過しました。この間、社会は大きく変化し、地方自治における行政と住民の関係、まちづくりの考え方も、行政主導型から住民参加型へと流れを変えてきました。近年加速しつつある地方分権の流れの中で、この〈まちづくり・地域づくり〉の問題はきわめて重要な課題になってきています。

自分たちの日常生活の場としての地域・わがまち・わがふるさと、を住みよい暮らしよいまちにするためには、まちづくりに対する住民の積極性や主体性が大切です。今、各地で、地域住民が一体となって進める地域活動を、行政が支援する形のまちづくりがはじまっています。竹原市では、平成17年10月に策定された協働のまちづくり推進プランで「地域コミュニティの充実」が重点目標に掲げられました。これを受けて、市内各地区で、この具体化に向けての取組みが始まりました。田万里町では、平成18年度5回の各団体代表者による研究検討会議等を経て平成19年4月に「田万里町協働のまちづくり協議会」が発足しました。

「協働のまちづくり」のねらい

協働のまちづくりのねらいは、地域コミュニティの充実にあります。地域の自治会や各団体・行政がより大きな枠で、地域の課題や将来像を話し合い、その解決・実現に向けての方策や活動プランを立て、〈自助・共助・公助〉の視点から役割分担を図り、取り組んでいくことです。

田万里町のまちづくりのあゆみ

田万里町では、早くから、町内各団体が相互に連絡をとりながら活動を進め、主要行事は幅広い町民参加をめざして、協働で取り組んできました。これらの活動は総体として、自治活動の全領域をカバーするものであり、特に自治会と社会福祉協議会を核として、各団体がこれを支えるという形が定着しており、田万里町では〈協働のまちづくり〉の基盤がすでに固まっていたと言えます。

田万里町の将来に向かって

今、時代は大きな変革の時にあります。高度成長の後に訪れた低成長の時代・少子高齢化による人口減少社会、急速に進行しつつある社会格差の問題等々。田万里町においてもより厳しい状況が地域の現実の問題として顕在化しつつあります。わがまち・わがふるさとをどう守り、どう維持していくかは、わたしたち住民にとってきわめて重要な課題です。

田万里町協働のまちづくり協議会では、そのねらいを「美しい豊かなふるさと」づくりとし、「助け合う里、守り拓く里、輪を広げる里」を合いことばに掲げ、当面の重要課題を2点にしほり、各団体の活動と連携をとりながら、取り組んでまいります。町民の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

田万里町協働のまちづくり協議会
会長 福田 敬完

田万里町協働のまちづくり協議会 平成19年11月発行



国道は田万里の顔 (空き缶拾い)

スポーツ広場を守る (管理作業)

たのしいね (子ども料理教室)



深まりを求めて (役員研修)



ここはこうしたら (まちづくり代表者会議)



話ははずむ (招待食事会)



物語の世界を (読み聞かせ教室)



若く美しく (いきいきサロン)

たしかなまちづくり

住みよいまちづくり

明るいまちづくり

美しい豊かなふるさと 田万里を目指して

自治会

社会福祉協議会

女性会

公民館

栄寿会

民生委員児童委員

P T A

人権教育推進協議会

消防団

農業振興会

中山間地会

ボランティアグループ

田万里町協働のまちづくり協議会

たしかなまちづくり
(総務企画)

住みよいまちづくり
(環境)

明るいまちづくり
(福祉)

安全なまちづくり
(防災)

ふれあいのまちづくり
(行事)

みどり輝くまちづくり
(農業)

- 広報活動 …… 案内通知・資料等の作成配布
- 研修活動 …… 全体・役員・地域別研修企画・実施、人権啓発
- 連絡調整 …… 各団体・関係機関連絡調整

- 地域の美化活動 …… 通学・生活道整備、粗大ごみ収集
- 施設管理 …… スポーツ広場管理作業、生活改善センター管理作業
- 文化財保護活動 …… ふるさと資料室の整備、マップ・テキスト作成、学習活動

- 高齢者福祉活動 …… 敬老会、いきいきサロン、弁当配食
- 青少年育成活動 …… ふれあい行事、こども図書館、通学路安全パトロール (青色灯パトロール隊)

- 地域防災活動 …… 自主防災組織の設立、防災マップ・防災マニュアルの作成
- 地域防犯活動 …… 防犯パトロール、防犯灯管理、防犯学習、広報活動

- スポーツ文化振興事業 …… 町民体育大会、芸能発表会
- 地域活動振興事業 …… 産業文化祭
- 伝統行事振興事業 …… 盆踊り、神明祭、当屋祭

- 農業振興事業 …… 生産基盤整備 (圃場整備) 集落営農組織具体化、産地直売活動
- 中山間地振興事業 …… 農地保全と活用、獣害対策



いざ出発 (防犯パトロール隊)



備えあれば (防災訓練)



棚田を守る (伝統農法)

安全なまちづくり

ふれあいのまちづくり

みどり輝くまちづくり



さあ、いらっしやい (新生朝市)



わたしのさつまいも (市民農園)



年の瀬は (しめなわづくり教室)



自慢の一品 (産業文化)



古式を守る (大宮祭献饗の儀)

助け合う里

守り拓く里

輪を広げる里